



IT Automation

ホストグループ管理・メニュー作成 【実習編】

※本書では「Exastro IT Automation」を「ITA」として記載します。

第1.0版

Exastro developer

目次

1. はじめに
 1. [本書について](#)
 2. [作業環境](#)
 3. [シナリオ](#)

2. 実習 シナリオ①

1. [事前準備](#)
2. [オペレーションの登録](#)
3. [Movementの設定](#)
4. [Conductorの作成](#)
5. [ホストグループの設定](#)
6. [メニューの管理](#)
7. [データ登録](#)
8. [代入値自動登録設定](#)
9. [代入値・作業対象ホストの確認](#)
10. [Conductorの実行](#)
11. [参照用パラメータシートの確認](#)

3. 実習 シナリオ②

1. [オペレーションの登録](#)
2. [ホストグループへのホスト追加](#)
3. [データ登録](#)
4. [代入値・作業対象ホストの確認](#)
5. [Conductorの実行](#)

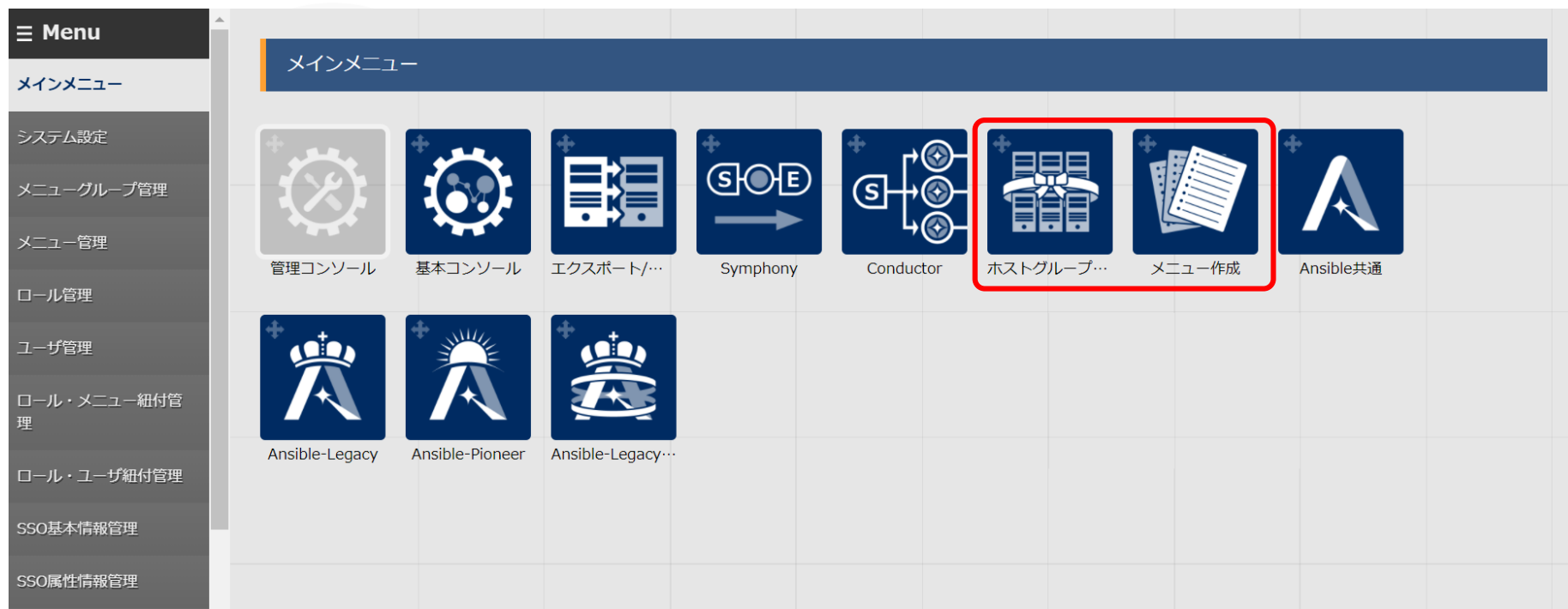
1. はじめに

1.1 本書について

本書について

以下の機能について実習形式で作業を進め、理解を深めていただけます。
作業の実行には**Ansible-Legacy**を用います。

- ホストグループ管理
- メニュー作成



1.2 作業環境

作業環境

本書で使用する作業環境は以下の通りです。

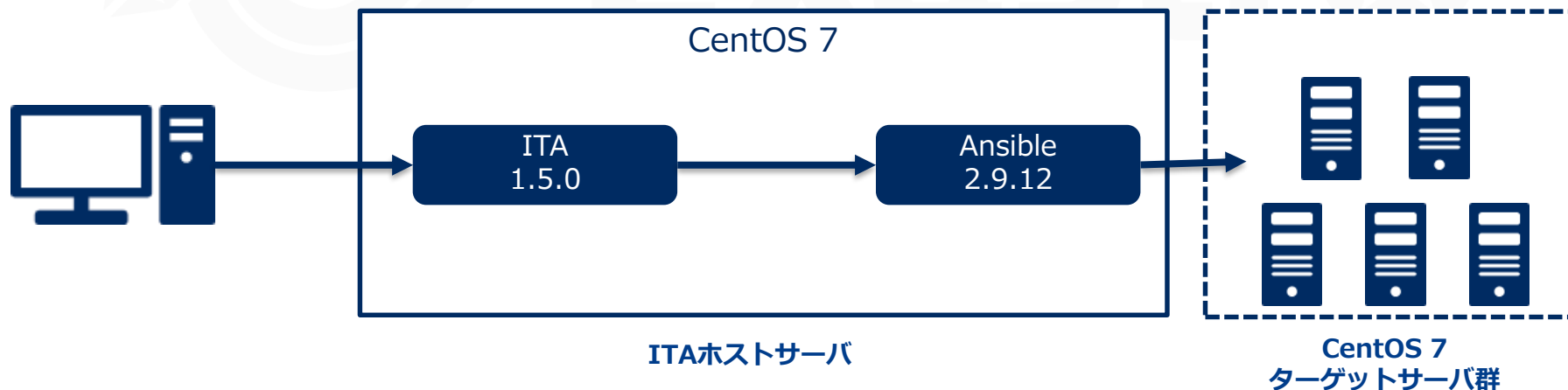
ITAホストサーバとは別に、作業のターゲットとなるサーバを**5台**(※1)をご用意ください。

ITAホストサーバ

- CentOS 7 (※2)
- ITA 1.5.0
- Ansible 2.9.12

ターゲット

- CentOS 7.8 (※3) … 5台



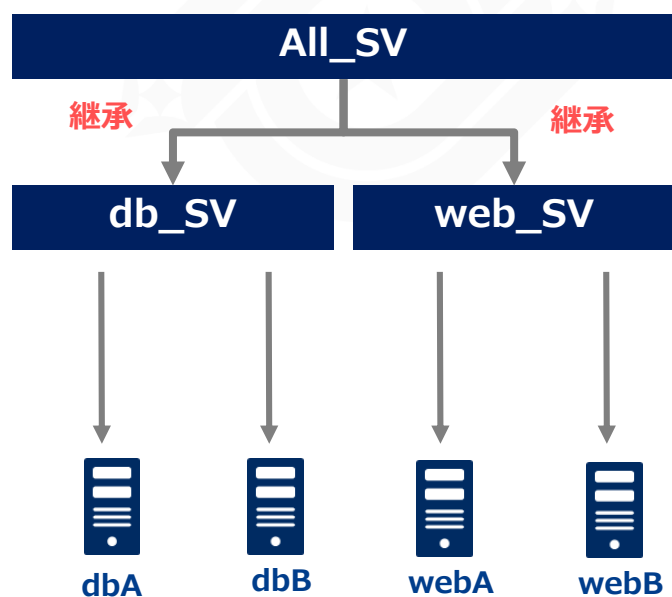
- ※1 ホストグループ機能の利便性を明確に体感するための台数であり、3~4台であってもシナリオは体験いただけます。
- ※2 今回はホストサーバとしてCentOS7を利用致しますが、ITAはRHEL7系およびRHEL8系のOSで導入いただけます。
- ※3 Ansibleの動作対象となれるOSであれば、問題なく利用いただけます。

1.3 シナリオ (1/2)

シナリオ① サーバ全体に基本設定を行う

ホストグループ機能とメニュー作成機能を活用し、以下の作業を実施します。

- ① 親ホストグループ「All_SV」へ共通のタイムゾーンを設定する。
- ② 子ホストグループ「db_SV」「web_SV」別に異なるDNSサーバのIPアドレスを設定する。
- ③ ホストそれぞれに個別のホスト名を設定する。



timezone: Asia/Tokyo

nameserver: 10.15.1.30 or 10.15.1.62

ホスト	timezone	nameserver	hostname
dbA	Asia/Tokyo	10.15.1.30	dbA
dbB	Asia/Tokyo	10.15.1.30	dbB
webA	Asia/Tokyo	10.15.1.62	webA
webA	Asia/Tokyo	10.15.1.62	webB

1.3 シナリオ (2/2)

シナリオ② 追加したサーバにだけ作業を実行する

前項の作業後にサーバを追加する作業を想定します。

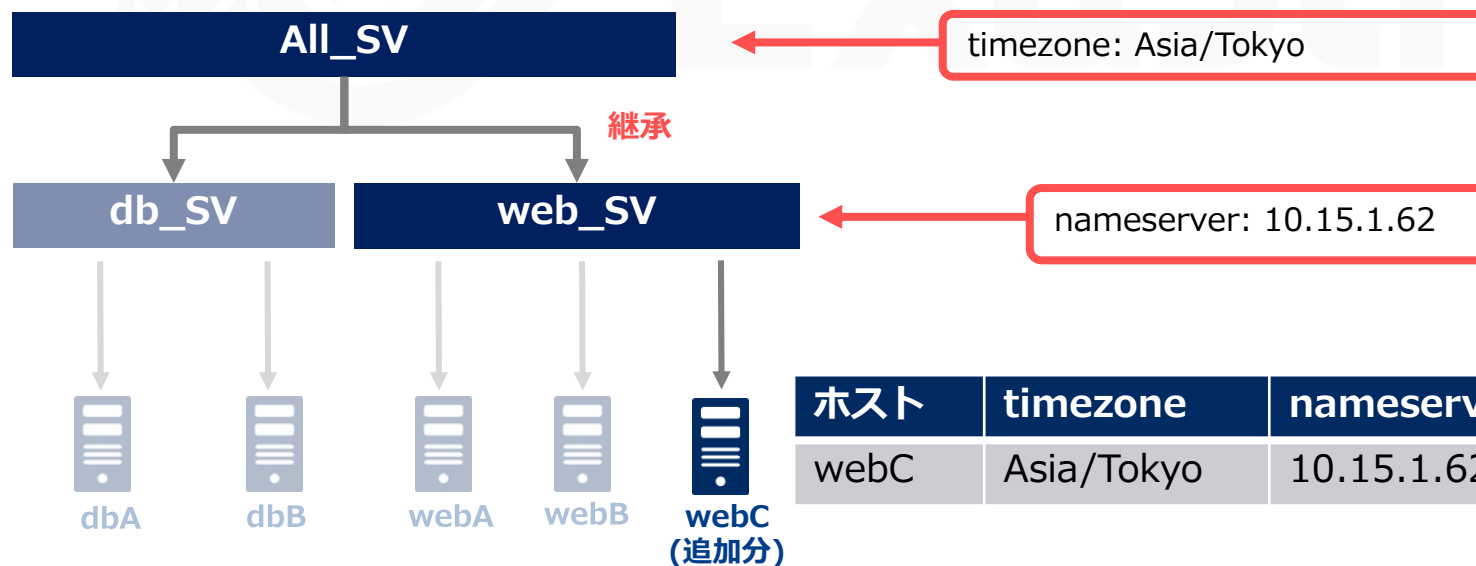
playbookに冪等性がある場合であれば、

1)追加サーバをホストグループに追加し、2)同じ作業を実行する だけで設定が完了します。

しかしファイルに追記を行うものなど、冪等性のないplaybookもあります。

これを同じホストに繰り返し適用した場合、余分な追記が行われるなどの不都合が生じます。

そのような状況を想定し、シナリオ②では**追加分のサーバにだけ作業を実行**します。
実行するConductorの内容などはシナリオ①と共通です。



2. 実習 作業①

2.1 事前準備 (1/2)

playbookの作成

本シナリオで使用するplaybookは以下の3つです。

下記内容のファイルを作成して下さい。

【注意】文字コードは“UTF-8”、改行コードは“LF”、拡張子は“yaml”で作成してください。

```
- name: Set Timezone
  timezone:
    name: "{{ VAR_locale_timezone }}"
```

ファイル名: 1-set_timezone.yaml
タイムゾーンを指定の値に変更します。
今回は全ホスト共通の値を代入します。

```
- name: Set Hostname
  hostname:
    name: "{{ VAR_hostname }}"
```

ファイル名: 2-set_hostname.yaml
ホスト名を変更します。
今回はホスト別の値を代入します。

```
- name: Add Nameserver
  shell: 'echo nameserver {{ VAR_nameserver_ip }} >>
/etc/resolv.conf'
```

ファイル名: 3-set_nameserver.yaml
/etc/resolv.confへの追記を行います。
幂等性がないため、各ホストに一度だけ実行します。

2.1 事前準備 (2/2)

作業対象ホストの登録

作業の実行対象となるホストをITAに登録しましょう。
今回の登録は5台分です。
※webCはシナリオ②で使用します。

メニュー：基本コンソール > 機器一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

登録

管理システム項目	HW機器種別	ホスト名*	IPアドレス*	EtherWakeOnLan		ログインユーザID	ログインパスワード	
				MACアドレス	ネットワークデバイス名		管理	ログインパスワード
自動入力	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div>	<div></div>

※*は必須項目です。

戻る登録

項目	1台目	2台目	3台目	4台目	5台目
HW機器種別	SV				
ホスト名	webA	webB	dbA	dbB	webC
IPアドレス	対象機器のIPアドレス				
ログインユーザID	(任意の値をご設定下さい)				
管理	●				
ログインパスワード	(任意の値をご設定下さい)				
認証方式	ssh				

2.2 オペレーションの登録

オペレーションを新規登録する

オペレーションを作成しましょう。

メニュー：基本コンソール > 投入オペレーション一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目へ下表のように入力し、[登録]を押下する。

登録

No.	オペレーションID	オペレーション名*	実施予定日時*	備考
自動入力	自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

※*は必須項目です。

戻る

登録

オペレーション名	実施予定日時
基本設定 全台	(任意でご入力下さい)

※ 「実施予定日時」は管理用の項目です。自動的に処理が実行されるわけではありません。

2.3 Movementの設定 (1/3)

Movementを作成する

先のplaybookを関連付けるMovementを登録しましょう。

メニュー : **Ansible-Legacy > Movement一覧**

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

登録

MovementID	Movement名*	遅延タイマー	ホスト指定形式*	WinRM接続	Ansible利用情報 ヘッダーセクション
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

<

※*は必須項目です。

戻る 登録

Movement名	ホスト指定形式
Set Timezone	IP
Set Hostname	IP
Add Nameserver	IP

2.3 Movementの設定 (2/3)

playbookを登録する

作成したplaybookをITAに登録しましょう。

メニュー：Ansible-Legacy > プレイブック素材集

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② [参照] からプレイブックを選択し、「事前アップロード」を行う。
- ③ 各項目へ下表のように入力し、「登録」を押下する。



登録

素材ID	プレイブック素材名*	プレイブック素材*	備考
自動入力	<input type="text"/>	<input type="button" value="参照..."/>	
		<input type="button" value="事前アップロード"/>	
		アップロード状況:	

※*は必須項目です。

プレイブック素材名	プレイブック素材
set_timezone	1-set_timezone.yml
add_nameserver	2-.set_nameserver.yml
set_hostname	3-set_hostname.yml

2.3 Movementの設定 (3/3)

Movementにplaybookを登録する

作成したMovementとプレイブック素材を関連付けましょう。

メニュー: **Ansible-Legacy > Movement詳細**

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

登録

紐付項番	Movement*	プレイブック素材*	インクルード順序*	備考
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

※*は必須項目です。

戻る

登録

Movement	プレイブック素材	インクルード順序
Set Timezone	set_timezone	1
Add Nameserver	add_nameserver	1
Set Hostname	set_hostname	1

2.4 Conductorの作成

Conductorを作成する

定義したMovementをまとめたConductorを作成しましょう。

メニュー: **Conductor > Conductorクラス編集**

The screenshot shows the 'Conductor' editor interface. At the top, there are buttons for 'EDIT', '新規' (New), '保存' (Save), '読込' (Load), '取り消し' (Undo), 'やり直し' (Redo), and 'ノード削除' (Delete Node). On the right, there are buttons for '全体表示' (Full View), '表示リセット' (Reset View), and 'フルスクリーン解除' (Exit Full Screen).

1 Conductorの名前を入力する。
Conductor名: サーバ基本設定

2 ドラッグ&ドロップで必要なMovementを追加する。

3 作業順にノード同士を繋ぐ。

4 [登録]を押下する。

Movement	作業順序
Set Timezone	1
Add Nameserver	2
Set Hostname	3

The workflow diagram shows a sequence of nodes: Start (S) -> Conductor (OUT) -> 18 (IN) -> Ansible Legacy (OUT) -> 20 (IN) -> Ansible Legacy (OUT) -> 21 (IN) -> Ansible Legacy (OUT) -> E (IN) -> Conductor (OUT) -> End (E). The nodes are connected in a linear sequence.

The Movement list on the right shows the following movements:

ID	Movement name
18	Set Timezone
20	Add nameserver
21	Set Hostname

2.5 ホストグループの設定 (1/4)

■ ホストグループを定義する

始めにホストが所属するホストグループを作成しましょう。

メニュー：ホストグループ管理 > ホストグループ一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

ホストグループID	ホストグループ名*	優先順位(大きい方が強い)*
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ホストグループ名	優先順位
All_SV	1
web_SV	2
db_SV	3

2.5 ホストグループの設定 (2/4)

■ ホストグループ同士の親子関係を定義する

ホストグループ間の親子関係を定義しましょう。

メニュー：ホストグループ管理 > ホストグループ親子紐付

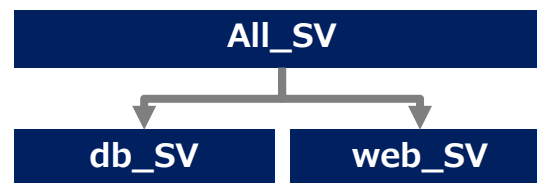
- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択し、[登録]を押下する。

登録

項番	ホストグループ	
	親	子
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ホストグループ 親	ホストグループ 子
All_SV	web_SV
All_SV	db_SV

イメージ



2.5 ホストグループの設定 (3/4)

■ ホストグループへホストを登録する

作成したホストグループに対して、ターゲットホストを紐付けましょう。

メニュー：ホストグループ管理 > ホスト紐付管理

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択し、[登録]を押下する。

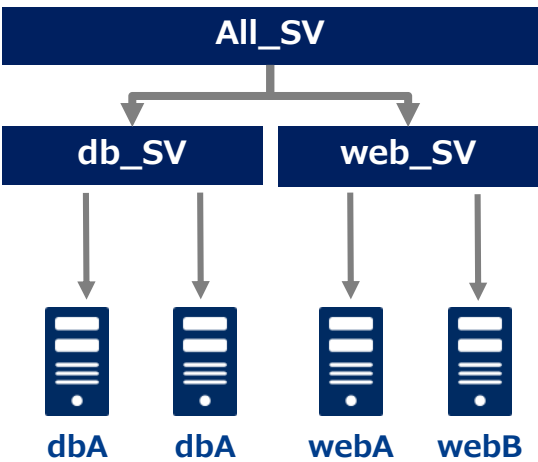
登録

項番	ホストグループ名	オペレーション	ホスト名
自動入力	<div></div>	<div></div>	<div></div>

※*は必須項目です。

ホストグループ名	オペレーション	ホスト名
web_SV		webA
web_SV		webB
db_SV		dbA
db_SV		dbB

イメージ



2.5 ホストグループの設定 (4/4)

■ ホストグループ変数の確認

ホストグループに登録したホスト名は、「**ホストグループ変数化機能**」により自動で変数化されます。

内容を確認してみましょう。

メニュー：ホストグループ管理 > ホストグループ変数化

- ① [フィルタ]を押下する
- ② 「**ホストグループ変数化機能**」によって正しく変数化されていることを確認する。

項番	ホストグループ名	ホストグループ変数名	ホスト名	備考	最終更新日時	最終更新者
19	All_SV	VAR_hostgroup_All_SV	dbB		2020/10/01 13:26:37	ホストグループ変数化機能
17	All_SV	VAR_hostgroup_All_SV	webB		2020/09/25 18:50:54	ホストグループ変数化機能
12	All_SV	VAR_hostgroup_All_SV	dbA		2020/09/11 14:28:14	ホストグループ変数化機能
10	All_SV	VAR_hostgroup_All_SV	webA		2020/09/11 14:28:14	ホストグループ変数化機能
20	db_SV	VAR_hostgroup_db_SV	dbB		2020/10/01 13:26:37	ホストグループ変数化機能
13	db_SV	VAR_hostgroup_db_SV	dbA		2020/09/11 14:28:35	ホストグループ変数化機能
18	web_SV	VAR_hostgroup_web_SV	webB		2020/09/25 18:50:54	ホストグループ変数化機能
11	web_SV	VAR_hostgroup_web_SV	webA		2020/09/11 14:28:25	ホストグループ変数化機能

Point

各ホストは直接所属するホストグループの親となるホストグループにも所属しています。

2.6 メニューの管理 (1/8)

メニューグループの作成

各メニュー（パラメータシート）が所属するメニューグループを作成しましょう。
同時に参照用のメニューやデータシートが所属するグループも作成しましょう。

メニュー：管理コンソール > メニューグループ管理

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目へ下記のように入力し、登録する。

登録

メニューグループID	メニューグループ名称	表示順序	パネル用画像
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<div>参照...</div> <div>事前アップロード</div> <div>アップロード状況:</div>

※*は必須項目です。

戻る

登録

メニューグループ名称	表示順序
サーバ基本設定(ホストグループ用)	120
サーバ基本設定(ホスト用)	125
サーバ基本設定(参照用)	130
プルダウン選択用データシート	140

2.6 メニューの管理 (2/8)

■ データシートを作成する

データシートを作成しましょう。

このデータシートに登録した値が、後ほどプルダウン選択の選択肢となります。

メニュー: **メニュー作成** > **メニュー定義/作成**

- ① 各項目へ下表のように入力する。
- ② [対象メニューグループ]を押下する。(次項へ)

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]
パスワード変更 ログアウト

メニュー作成情報

基本情報

項目: 13

メニュー名*: タイムゾーン一覧

作成対象*: データシート(マスタ利用可能) ▼

表示順序*: 1

最終更新日時: 2020-09-23 17:42:05

最終更新者: システム管理者

対象メニューグループ

データシート*: プルダウン選択用データシート

対象メニューグループ

説明

備考

項目名	入力内容
メニュー名	タイムゾーン一覧
作成対象	データシート(マスタ利用可能)
表示順序	1

2.6 メニューの管理 (3/8)

データシートを作成する

[メニューグループ選択]では、
作成するメニューが所属するメニューグループを選択しましょう。

- ① 下図の様に選択する。
- ② 画面下部より[決定]を押下する。

メニューグループ選択 ×

Data sheet	ID	Menu group name
<input type="radio"/>	-	Unselected
<input type="radio"/>	7	サーバ基本設定(ホストグループ用)
<input type="radio"/>	8	サーバ基本設定(ホスト用)
<input type="radio"/>	9	サーバ基本設定(参照用)
<input checked="" type="radio"/>	10	プルダウン選択用データシート

2.6 メニューの管理 (4/8)

データシートの項目名を定義する

前項に続き、シートの項目を定義していきましょう。

メニュー: **メニュー作成 > メニュー定義/作成**

- ① [項目]を押下し、新しい項目を追加する。
- ② 各項目について、下表のように入力する。
- ③ 画面下部の[作成]を押下する。

The screenshot shows the 'メニュー定義/作成' (Menu Definition/Creation) screen. On the left, a sidebar contains a list of items, with '項目' (Item) highlighted by a red box and a blue circle with the number 1. The main area displays the configuration for the 'Timezone' item, including a dropdown menu set to '文字列(単一行)' (Text (Single Line)), a '最大バイト数*' (Max Bytes) field set to 32, and checkboxes for '必須' (Required) and '一意制約' (Unique Constraint), both of which are checked. A '説明' (Description) field and a '備考' (Remarks) field are also visible. On the right, a table shows the configuration for the 'Timezone' item, with columns for '項目名' (Item Name), '入力方式' (Input Method), '最大バイト数' (Max Bytes), '必須' (Required), and '一意制約' (Unique Constraint). The table contains one row for 'Timezone' with the following values: '文字列(単一行)', 32, checked, and checked. At the bottom right, a 'プレビュー' (Preview) window shows a table of operations. The '作成' (Create) button is highlighted by a red box and a blue circle with the number 3.

項目名	入力方式	最大バイト数	必須	一意制約
Timezone	文字列(単一行)	32	✓	✓

No	ホスト名	オペレーション名	基準日時	実施予定日	最終実行日
1	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	
2	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	
3	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	

2.6 メニューの管理 (5/8)

■ ホストグループ用メニューを作成する

ホストグループ用のパラメータシートを作成し、ホストグループに適用するパラメータを管理しましょう。

メニュー: **メニュー作成** > **メニュー定義/作成**

- ① 「基本情報」各項目へ下表のように入力する。
- ② [対象メニューグループ]を押下し、対象メニューグループを選択する。(次項へ)

ようこそ[システム管理者]さん
ログインID [administrator]
パスワード変更 ログアウト

メニュー作成情報

基本情報

項目: 15

メニュー名*: サーバ用パラメータ

作成対象*: パラメータシート(ホスト/オペレーシ

表示順序*: 1

用途*: ホストグループ用

最終更新日時: 2020-09-11 19:06:06

最終更新者: システム管理者

対象メニューグループ

ホスト*: サーバ(基本設定(ホスト用))

ホストグループ*: サーバ(基本設定(ホストグループ用))

参照*: サーバ(基本設定(参照用))

縦メニュー:

対象メニューグループ

説明

予定日 最終実行日時

1/01 00:00 ブルダウン選択用デ

項目名	入力内容
メニュー名	サーバ用パラメータ
作成対象	パラメータシート (ホスト/オペレーション含む)
表示順序	1
用途	ホストグループ用

Host	Host_group	Reference	Vertical	ID	Menu_group_name
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	-	Unselected
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7	サーバ基本設定(ホストグループ用)
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8	サーバ基本設定(ホスト用)
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	9	サーバ基本設定(参照用)
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10	ブルダウン選択用データシート

2.6 メニューの管理 (6/8)

パラメータシートの項目名を定義する

前項に続き、シートの項目を定義していきましょう。

メニュー： **メニュー作成 > メニュー定義/作成**

- ① [項目]を押下し、新しい項目を追加する。
- ② 各項目について、下表のように入力する。
- ③ 画面下部の[作成]を押下する。

項目

グループ

リポート

取り消し

やり直し

Timezone

プルダウン選択

選択項目* サーバ基本

☐ 必須

☐ 一意制約

説明

備考

Nameserver_ip

文字列(単一行)

最大バイト数* 32

☐ 必須

☐ 一意制約

説明

備考

項目名	入力方式	選択項目
Timezone	プルダウン選択	サーバ基本設定: タイムゾーン一覧: パラメータ/Timezone

+

項目名	入力方式	最大バイト数
Nameserver_ip	文字列(単一行)	32

プレビュー ログ

一覧(プレビュー)

No	ホスト名	オペレーション名	基準日時	実施予定日	最終実行日
1	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	
2	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	
3	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	

作成

2.6 メニューの管理 (7/8)

■ ホスト用メニューを作成する

ホスト用のパラメータシートを作成し、
ターゲットホストに適用するパラメータを管理しましょう。

メニュー: **メニュー作成** > **メニュー定義/作成**

- ① 「基本情報」各項目へ下表のように入力する。
- ② [対象メニューグループ]を押下し、対象メニューグループを選択する。(次項へ)

メニュー作成情報

基本情報

項目: 14

メニュー名: ホスト名

作成対象: パラメータシート(ホスト/オペレーシ

表示順序: 1

用途: ホスト用

最終更新日時: 2020-09-11 15:11:30

最終更新者: システム管理者

対象メニューグループ

ホスト: サーバ(基本設定(ホスト用))

参照: サーバ(基本設定(参照用))

縮小メニュー:

対象メニューグループ

説明

項目名	入力内容
メニュー名	ホスト名
作成対象	パラメータシート (ホスト/オペレーション含む)
表示順序	1
用途	ホスト用

Host	Reference	Vertical	ID	Menu group name
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	-	Unselected
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	7	サーバ基本設定(ホストグループ用)
<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	8	サーバ基本設定(ホスト用)
<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	9	サーバ基本設定(参照用)
<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	10	プルダウン選択用データシート

2.6 メニューの管理 (8/8)

パラメータシートの項目名を定義する

前項に続き、シートの項目を定義していきましょう。

メニュー: **メニュー作成 > メニュー定義/作成**

- ① [項目]を押下し、新しい項目を追加する。
- ② 各項目について、下表のように入力する。
- ③ 画面下部の[作成]を押下する。

The screenshot shows the 'メニュー定義/作成' (Menu Definition/Creation) screen. A red box highlights the '項目' (Item) button, with a callout '1' indicating it should be pressed to add a new item. Another red box highlights the '作成' (Create) button at the bottom, with a callout '3' indicating it should be pressed. A callout '2' points to the '項目名' (Item Name) table, which defines the parameters for the menu items.

項目名	入力方式	最大バイト数
Hostname	文字列(単一行)	32

The interface also shows a form for defining a new item, with fields for '項目名' (Item Name), '入力方式' (Input Method), '最大バイト数' (Maximum Byte Count), '正規表現' (Regular Expression), and checkboxes for '必須' (Required) and '一意制約' (Unique Constraint). The '説明' (Description) and '備考' (Remarks) fields are also present.

The 'プレビュー' (Preview) section shows a table of menu items:

No	ホスト名	オペレーション名	基準日時	実施予定日	最終実行日
1	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	
2	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	
3	192.168.0.1	オペレーション	2020/01/01 00:00	2020/01/01 00:00	

2.7 データ登録 (1/3)

■ データシートにデータを登録する

データシートとパラメータシートが作成されました。
作成したメニューに移動し、データを入力していきましょう。

メニュー: **プルダウン選択用データシート > タイムゾーン一覧**

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

登録

No	Timezone*	備考	最終更新日時	最終更新者
自動入力	<input type="text"/>		自動入力	自動入力

Timezone

Asia/Tokyo

America/New_York

2.7 データ登録 (2/3)

パラメータシートにデータを登録する

作成したメニューに移動し、データを入力していきましょう。

メニュー: **サーバ基本設定(ホストグループ用) > サーバ用パラメータ**

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

登録

No	ホスト名/ホストグループ名	オペレーション	パラメータ		
		オペレーション	Timezone	port_to_open	Nameserver_ip
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Point

前項でデータシートに入力した内容から選択できます。

ホスト名/ホストグループ名	オペレーション	Timezone	Nameserver_ip
[HG]All_hosts	基本設定 全台	Asia/Tokyo	10.15.1.30
[HG]web_SV	基本設定 全台	Asia/Tokyo	10.15.1.62
[HG]db_SV	基本設定 全台	Asia/Tokyo	10.15.1.30

2.7 データ登録 (3/3)

パラメータシートにデータを登録する

次に、ホスト用メニューグループに作成したメニューからデータを登録しましょう。

メニュー:メニュー: **サーバ基本設定(ホスト用) > ホスト名**

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

登録

No	ホスト名*	オペレーション オペレーション*	パラメータ Hostname
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ホスト名	オペレーション	Hostname
webA	基本設定 全台	webA
webB	基本設定 全台	webB
dbA	基本設定 全台	dbA
dbB	基本設定 全台	dbB

2.8 代入値自動登録設定

代入値自動登録設定を行う

パラメータシートの入力が終わったところで、
各項目と変数を関連付けていきましょう。

メニュー: **Ansible-Legacy > 代入値自動登録設定**

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

登録

項番	パラメータシート		登録方式*	Movement	IaC変数			
	メニューグループ:メニュー	項目			Key変数		Value変数	
					変数名	代入順序	変数名	代入順序
自動入力	<div></div>	メニューを選択して下さい	<div></div>	<div></div>	Movementを選択して下さい	<div></div>	Movementを選択して下さい	<div></div>

※*は必須項目です。

メニュー	項目	登録方式	Movement	Value変数 変数名	代入順序
サーバ用パラメータ	Timezone	Value型	Set Timezone	VAR_locale_timezone	
サーバ用パラメータ	Nameserver_ip	Value型	Add Nameserver	VAR_nameserver_ip	
ホスト名	Hostname	Value型	Set Hostname	VAR_hostname	

2.9 代入値・作業対象ホストの確認

代入値と作業対象ホストを確認する

代入値自動登録により指定された値と対象ホストを確認しましょう。

メニュー: **Ansible-Legacy > 作業対象ホスト & Ansible-Legacy > 代入値管理**

- ① [フィルタ]を押下する
- ② 「legacy代入値自動登録設定プロシージャ」によって正しい値が指定されていることを確認する。

更新	廃止	項番	オペレーション	Movement	ホスト	備考	最終更新日時	最終更新者
更新	廃止	36	11:基本設定 全台	18:Set Timezone	1:webA		2020/09/25 19:02:31	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	37	11:基本設定 全台	18:Set Timezone	3:dbA		2020/09/25 19:02:31	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	44	11:基本設定 全台	18:Set Timezone	4:webB		2020/10/01 13:26:10	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	46	11:基本設定 全台	18:Set Timezone	5:dbB		2020/10/01 13:26:44	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	39	11:基本設定 全台	20:Add nameserver	1:webA		2020/09/25 19:02:53	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	40	11:基本設定 全台	20:Add nameserver	3:dbA		2020/09/25 19:02:53	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	45	11:基本設定 全台	20:Add nameserver	4:webB		2020/10/01 13:26:10	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	47	11:基本設定 全台	20:Add nameserver	5:dbB		2020/10/01 13:26:44	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	41	11:基本設定 全台	21:Set Hostname	1:webA		2020/09/25 19:06:46	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	42	11:基本設定 全台	21:Set Hostname	4:webB		2020/09/25 19:06:46	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	43	11:基本設定 全台	21:Set Hostname	3:dbA		2020/09/25 19:06:57	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	52	11:基本設定 全台	21:Set Hostname	5:dbB		2020/10/01 13:40:22	legacy代入値自動登録設定プロシージャ

作業対象ホスト

更新	廃止	項番	オペレーション	Movement	ホスト	変数名	具体値	代入順序	最終更新日時	最終更新者
更新	廃止	69	11:基本設定 全台	18:Set Timezone	1:webA	16:VAR_lcale_timezone	Asia/Tokyo		2020/09/25 19:02:31	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	70	11:基本設定 全台	18:Set Timezone	3:dbA	16:VAR_lcale_timezone	Asia/Tokyo		2020/10/01 13:39:14	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	77	11:基本設定 全台	18:Set Timezone	4:webB	16:VAR_lcale_timezone	Asia/Tokyo		2020/10/01 13:26:10	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	81	11:基本設定 全台	18:Set Timezone	5:dbB	16:VAR_lcale_timezone	Asia/Tokyo		2020/10/01 13:39:14	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	74	11:基本設定 全台	21:Set Hostname	1:webA	20:VAR_hostname	webA		2020/09/25 19:06:46	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	75	11:基本設定 全台	21:Set Hostname	4:webB	20:VAR_hostname	webB		2020/09/25 19:06:46	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	76	11:基本設定 全台	21:Set Hostname	3:dbA	20:VAR_hostname	dbA		2020/09/25 19:06:57	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	85	11:基本設定 全台	21:Set Hostname	5:dbB	20:VAR_hostname	dbB		2020/10/01 13:40:22	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	72	11:基本設定 全台	20:Add nameserver	1:webA	23:VAR_nameserver_ip	10.15.1.62		2020/10/01 13:39:48	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	73	11:基本設定 全台	20:Add nameserver	3:dbA	23:VAR_nameserver_ip	10.15.1.30		2020/10/01 13:39:14	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	78	11:基本設定 全台	20:Add nameserver	4:webB	23:VAR_nameserver_ip	10.15.1.62		2020/10/01 13:39:48	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	82	11:基本設定 全台	20:Add nameserver	5:dbB	23:VAR_nameserver_ip	10.15.1.30		2020/10/01 13:39:14	legacy代入値自動登録設定プロシージャ

代入値管理

2.10 Conductorの実行 (1/2)

Conductorを実行する

前項までの操作で、Conductorの作成と代入値の登録が終了しました。
最後にConductorを実行し、結果を対象ホストで確認してください。

メニュー： **Conductor > Conductor作業実行**

Menu

- メインメニュー
- Conductorインターフェース情報
- Conductorクラス一覧
- Conductorクラス編集
- Conductor作業実行**
- Conductor作業確認
- Conductor作業一覧
- Conductor定期作業実行

Conductor一覧

選択	ConductorクラスID	Conductor名称	説明	備考	最終更新日時	最終更新者
<input type="checkbox"/>	7	サーバ基本設定			2020/10/01 06:11:54	システム管理者

フィルタ結果件数: 1

オペレーション一覧

選択	No.	オペレーションID	オペレーション名	実施予定日時	最終実行日時	備考	最終更新日時	最終更新者
<input type="checkbox"/>	12	12	基本設定 全台	2020/10/07 13:30			2020/10/01 14:43:01	システム管理者
<input type="checkbox"/>	13	13	基本設定 追加サーバのみ	2020/10/15 13:26			2020/10/01 14:43:16	システム管理者

フィルタ結果件数: 2

Log

実行

1 Conductor一覧から「サーバ基本設定」を選択する。

2 オペレーション「基本設定 全台」を選択する。

3 画面下部より、[実行]を押下する。

Tips 実行後、自動で【Conductor作業確認】へ画面遷移します。

2.10 Conductorの実行 (2/2)

Conductorの実行結果を確認する

作業確認画面では、全体およびノードごとの実行結果を確認できます。
投入したMovementを選択すると、**詳細結果へのリンク**を表示できます。

メニュー： Conductor > Conductor作業確認

1 確認したいノードを選択する。

2 リンクや作業の情報が表示される。

Node

- Node type : movement
- Node instance ID : 175
- Node name : node-3
- Status : 正常終了
- Start time : 2020/10/01 06:46
- End time : 2020/10/01 06:47:18
- Operation status : http://192.168.11.23/default.html/01_browse.php?no=21000020112&execution_no=107
- Specified individually operation
- Operation ID :
- Operation name :
- Note

Operation

- Operation ID : 11
- Operation name : 基本設定 全台

緊急停止

2.11 参照用パラメータシートの確認

参照用パラメータシートの内容を確認する

前項までの操作により、設定したパラメータをターゲットホストに適用できました。
最後に参照用パラメータシートを確認し、実行日時などが記録されたことを確認しましょう。

メニュー:サーバ基本設定(参照用)

- ① [フィルタ]を押下する。
- ② 「**基準日時**」や「**最終実行日時**」が更新されていることを確認する。

No	ホスト名	オペレーション					パラメータ		最終更新日時	最終更新者
		ID	オペレーション名	基準日時	実施予定日時	最終実行日時	Timezone	Nameserver		
2	webA	11	基本設定 全台	2020/10/01 06:47	2020/09/29 19:30	2020/10/01 06:47	Asia/Tokyo	10.15.1.62	2020/10/01 13:39:41	ホストグループ分解機能
3	dbA	11	基本設定 全台	2020/10/01 06:47	2020/09/29 19:30	2020/10/01 06:47	Asia/Tokyo	10.15.1.30	2020/10/01 13:39:09	ホストグループ分解機能
4	webB	11	基本設定 全台	2020/10/01 06:47	2020/09/29 19:30	2020/10/01 06:47	Asia/Tokyo	10.15.1.62	2020/10/01 13:39:41	ホストグループ分解機能
6	dbB	11	基本設定 全台	2020/10/01 06:47	2020/09/29 19:30	2020/10/01 06:47	Asia/Tokyo	10.15.1.30	2020/10/01 13:39:09	ホストグループ分解機能

3. 実習 シナリオ②

3.1 オペレーションの登録

オペレーションを新規登録する

追加のオペレーションを作成しましょう。

メニュー：基本コンソール > 投入オペレーション一覧

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目へ下表のように入力し、[登録]を押下する。

登録

No.	オペレーションID	オペレーション名*	実施予定日時*	備考
自動入力	自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	

※*は必須項目です。

戻る

登録

オペレーション名

実施予定日時

基本設定 追加サーバのみ

(任意でご入力下さい)

※ 「実施予定日時」は管理用の項目です。自動的に処理が実行されるわけではありません。

3.2 ホストグループへのホスト追加

ホストグループへホストを登録する

追加のホストをホストグループに登録しましょう。

webAとwebB を作業対象から外すために、シナリオ①で行った設定の変更も行います。

メニュー：ホストグループ管理 > ホスト紐付管理

- ① 【更新】一覧/更新 > 更新 を押下する。
【新規登録】登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択し、[登録]を押下する。

登録

項番	ホストグループ名	オペレーション	ホスト名
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

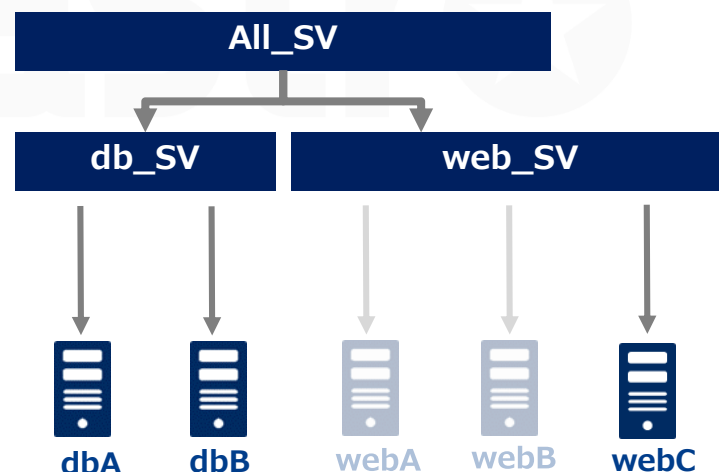
※*は必須項目です。

ホストグループ名	オペレーション	ホスト名
web_SV	基本設定 全台	webA
web_SV	基本設定 全台	webB
web_SV	基本設定 追加サーバのみ	webC

Point

この場合、
「基本設定 全台」の実行時は webAとwebBが、
「基本設定 追加サーバのみ」の実行時はwebCだけが作業対象となります。

イメージ



3.3 データ登録 (1/2)

パラメータシートにデータを登録する

シナリオ①で作成したメニューに移動し、データを入力していきましょう。

メニュー: サーバ基本設定(ホストグループ用) > サーバ用パラメータ

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

登録

No	ホスト名/ホストグループ名	オペレーション	パラメータ		
		オペレーション	Timezone	port_to_open	Nameserver_ip
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

Point

前項でデータシートに入力した内容から選択できます。

ホスト名/ホストグループ名	オペレーション	Timezone	Nameserver_ip
[HG]web_SV	基本設定 追加サーバのみ	Asia/Tokyo	10.15.1.62

3.3 データ登録 (2/2)

パラメータシートにデータを登録する

次に、ホスト用メニューグループに作成したメニューからデータを登録しましょう。

メニュー:メニュー: **サーバ基本設定(ホスト用) > ホスト名**

- ① 登録 > 登録開始 を押下する。
- ② 各項目で下表のように選択または入力し、[登録]を押下する。

登録

No	ホスト名*	オペレーション オペレーション*	パラメータ Hostname
自動入力	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

ホスト名	オペレーション	Hostname
webC	基本設定 追加サーバのみ	webC

3.4 代入値・作業対象ホストの確認

代入値と作業対象ホストを確認する

代入値自動登録により指定された値と対象ホストを確認しましょう。

メニュー: **Ansible-Legacy > 作業対象ホスト & Ansible-Legacy > 代入値管理**

- ① [フィルタ]を押下する
- ② 「legacy代入値自動登録設定プロシージャ」によって「webC」のデータだけが追加されていることを確認する。

作業対象ホスト

更新	廃止	項番	オペレーション	Movement	ホスト	備考	最終更新日時	最終更新者
更新	廃止	70	13:基本設定 追加サーバのみ	20:Add nameserver	6:webC		2020/10/01 14:44:49	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	67	13:基本設定 追加サーバのみ	18:Set Timezone	6:webC		2020/10/01 14:44:49	legacy代入値自動登録設定プロシージャ

代入値管理

更新	廃止	項番	オペレーション	Movement	ホスト	変数名	具体値	代入順序	備考	最終更新日時	最終更新者
更新	廃止	103	13:基本設定 追加サーバのみ	20:Add nameserver	6:webC	23:VAR_nameserver_ip	10.15.1.62			2020/10/01 14:44:49	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	102	13:基本設定 追加サーバのみ	18:Set Timezone	6:webC	16:VAR_lcale_timezone	Asia/Tokyo			2020/10/01 14:44:49	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	97	12:基本設定 全台	20:Add nameserver	5:dbB	23:VAR_nameserver_ip	10.15.1.30			2020/10/01 14:44:27	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	96	12:基本設定 全台	18:Set Timezone	5:dbB	16:VAR_lcale_timezone	Asia/Tokyo			2020/10/01 14:44:27	legacy代入値自動登録設定プロシージャ
更新	廃止	95	12:基本設定 全台	20:Add nameserver	3:dbA	23:VAR_nameserver_ip	10.15.1.30			2020/10/01 14:44:27	legacy代入値自動登録設定プロシージャ

3.5 Conductorの実行

Conductorを実行する

再度Conductorを実行し、
作業がホスト「webC」にだけ反映されたことを確認してください。

メニュー： Conductor > Conductor作業実行

1 Conductor一覧から「サーバ基本設定」を選択する。

選択	ConductorクラスID	Conductor名称	説明	備考	最終更新日時	最終更新者
<input type="radio"/>	7	サーバ基本設定			2020/10/01 06:11:54	システム管理者

フィルタ結果件数: 1

2 オペレーション「基本設定 追加サーバのみ」を選択する。

選択	No.	オペレーションID	オペレーション名	実施予定日時	最終実行日時	備考	最終更新日時	最終更新者
<input type="radio"/>	12	12	基本設定 全台	2020/10/07 13:30			2020/10/01 14:43:01	システム管理者
<input type="radio"/>	13	13	基本設定 追加サーバのみ	2020/10/15 13:26			2020/10/01 14:43:16	システム管理者

フィルタ結果件数: 2

3 画面下部より、[実行]を押下する。

実行

Tips
実行後に【Conductor作業確認】へ画面遷移します。
結果の確認画面については、先ほどの[こちらのスライド](#)を参照してください



Exastro